

レポートの書き方

PBL1ミニレクチャー
竹中要一



レポートとは何ぞや

❁ 知見を文章にしたもの

❁ 目的: 他人に理解してもらうこと

❁ 演習のプログラムが完成し, 正しく動作することを教官に報告/理解してもらう.

❁ インタビューを行った結果を纏めて報告する.

- 教官にインタビュー内容を理解してもらう

❁ 研究の成果を纏めて報告したもの(論文)

- 他の研究者に理解してもらう

❁ 企業でのプロジェクトの企画書, 報告書

- そのプロジェクトを顧客/上司/部下に理解してもらう



レポートの重要性

- ❁ 「自分の能力を他人に理解させることができなければ、能力がないのと同じだ」
任天堂の開発チームの総合プロデューサー、
石原恒和氏

出典：日経新聞

- ❁ レポート：他人に理解させることがなければ、
出さないのと同じ。



レポートの重要性

❁ 例:

❁ プログラミングの授業

- プログラムが完成しても, 完成したことを教官に理解してもらえなければ, 単位が取れない

❁ 企業でのプロジェクトの企画書

- 上司/顧客にプロジェクトの企画を理解してもらえないと仕事が出来ない.

❁ コンピュータのマニュアル

- 使用者が理解不能では, 全く役に立たない.

❁ レポートの重要性
= 理解してもらおう重要性



大学でレポート提出が多い理由

- ❁ 良いレポート書くには練習が必要
 - ❁ 教科書を読んで頭で理解するだけでは良いレポートは作成できない
- ❁ 卒業論文を書く必要
 - ❁ 自分の卒業研究の内容を他人に説明できない学生を卒業させられると思いますか？
- ❁ 社会に出ても必要な技能
 - ❁ 社会で役立つ人として巣立って欲しい



テクニック(形式)の前に

- ❁ レポート良さ = 内容の良さ × 理解しやすさ
 - ❁ 当然, 内容がなければ意味をなさない.
 - ❁ 内容がいくら良くても, 理解できなければ ×
- ❁ どうすれば理解しやすいレポートが書ける?
 - ❁ レポート「形式」が存在する
 - しかし「形式」は最低限のルール
- ❁ 理解してもらおう気持ちはまず必要
 - ❁ 「読みたきゃ読め」では通用しない
 - 通用しない例: 理解不能なマニュアル
 - 製品を買ってもらえなくなる
 - 通用する稀有な例: モーツァルトの走り書きの楽譜



形式の重要性

❁ 読み手側：

- ❁ 知りたい情報の場所が分かりやすい
- ❁ 話の流れが明確になり、読みやすく理解しやすい

❁ 書き手側

- ❁ 書くべき内容を整理できる
- ❁ 記述もれを防ぐことができる
- ❁ 書くのに要する時間が短くなる



情報科学科のレポート形式(標準)

- ❁ A4縦
- ❁ 日本語横書き
- ❁ 左閉じ
 - ❁ 厚手: ホッチキス左2箇所
 - ❁ 薄手: 左上1箇所
- ❁ 独立した表紙
- ❁ 本文一段組み
- ❁ 鉛筆不可
- ❁ 表紙の記述内容
 - ❁ 講義科目名
 - ❁ レポート名
(第1回レポート)
 - ❁ 担当教官
(柏原敏伸教官)
 - ❁ 氏名, 所属, 学年, 学籍
番号, eメール
 - ❁ 班やグループ名
 - ❁ 締切/提出日



PBL1のレポートの章立て例

1. 課題内容
2. グループ構成員
3. 議論結果
4. インタビュー
5. 考察と結論
6. 各人の担当
7. まとめ
8. 感想(自分の貢献度)
9. 謝辞

10. 付録

参考文献

議事録のまとめ

その他



チェックポイント

- ❁ 章, 節, 小節, 段落は正しく用いられているか
- ❁ 論理的な文章か
- ❁ 背景説明は十分か
- ❁ 事実と意見, 客観と主観は区別されているか
- ❁ 誤字脱字, 固有名詞の間違いはないか
- ❁ 不用意な造語を用いていないか
- ❁ 文体は統一されているか



表紙例

ホッチキス
2箇所

回数も

LaTeXなら
tabular環境が便利
きっちり揃えよう

PBL1 最終レポート

担当教官	柏原敏伸 教官
提出者氏名	竹中要一
所属・学年	大阪大学基礎工学部情報科学科1年
学籍番号	11110000
班・グループ	計算機7班
電子メール	takenaka@ics.es.osaka-u.ac.jp
提出日	平成13年7月9日

ホッチキス
1箇所なら左上

講義科目名

忘れがち

実際の提出日を！

LaTeXによる表紙生成例(プロA)

<http://yebisu.ics.es.osaka-u.ac.jp/~takenaka/oldhome/2001/programmingA/hyoushi.htm>



文献リスト

- ❁ 木下是雄 “理系の作文技術” 中公新書
- ❁ 本多勝一 “日本語の作文技術” 朝日文庫
- ❁ 本多勝一 “実践・日本語の作文技術”
朝日文庫

